

園 目 標 ・じょうぶでたくましい子ども
 ・誰とでも遊べる思いやりのある子ども

・素直で心豊かな子ども
 ・自分で考え行動する子ども

評 価 (A : 十分達成されている B : 達成されている C : 取り組んでいるが、成果が十分でない
 D : 取り組みが不十分である)

* 保育の計画と実施に関する評価

項目	内容	評価	今後の改善に向けて
保育について アンケート設問 1, 3, 5, 6, 7, 11	・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態をふまえた重点目標を設定しているか	B	・日々、子ども達の成長に合わせて保育計画が立てられているので、引き続き行っていきたい。 ・担当者間の話し合う時間を増やしていきたい。 ・連絡事項の伝達がよりスムーズになる方法を新たに考えていきたい。
	・保育計画において全職員が共通理解している	C	
	・環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B	
	・一日の流れは現行でよいか	B	
行事について アンケート設問 9, 10	・行事の種類や実施回数は適切か	B	・年間・週毎の行事開催時期や時間を再検討し、子ども達の一日のスケジュールが過密にならないよう考えていきたい。
	・行事のねらいを計画や実施に十分に生かしているか	A	
	・保護者の願いや意見を取り入れているか	A	
環境について アンケート設問 3, 4	・子どもの成長に即した保育環境になるよう工夫を重ねている	B	・園庭の倉庫を増設し用具の収納スペースを増やしたが、跳び箱やマット類などの出し入れしやすいよう工夫していきたい。
	・施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	
	・遊具・用具など、活用しやすいように整理・保管しているか	B	
情報について アンケート設問 2	・おたよりやホームページを通じ園の情報を発信しているか	A	・情報発信については、保育時間外の作業となるため、頻度等について新年度は見直しを考えていく。
	・個人情報の管理は適切に行っているか	A	
連携について アンケート設問 8, 10, 12	・地域・保護者との連携を図ると共に園の行事運営などに努めている	B	・保護者会との連携・交流を更に深めていきたい。 ・デイサービスとの交流、老人クラブとの行事を毎年行っている
	・保育士同士協力し合って保育にあたっている	B	
	(園内) ・園内研修の計画・運営は適切か	B	・毎月の職員会議で情報共有が来ている。

研究・研修について	・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	・個々の発言・発案が活発にできる会議にしていきたい。
	・研究の成果を日常の保育に生かし乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	(園外) ・研究会・研修会・講演会への参加態勢の充実を図っているか	C	・園外研修の参加は勤務体制上、最小限となった。新年度は新たな体制により参加できる回数はふやしていきたい。
	・それらの内容を園内に還元しているか	B	
経営・組織について	・係や仕事の分担・割り当ては適切か	C	・勤務体制が過密となり休暇の取得も最低限となったが、職員同士の連携や工夫により新年度を迎えることが出来た。 ・保育士の新規採用により新年度より、働き方改革を進め、業務効率をよくしていきたい。
	・職員の配置は適材・適所か	C	
保健・安全について	・避難訓練・交通安全教室を計画に基づいて適切に実施しているか	A	・各家庭への理解を深めていきたい。 ・毎月発行の保健だよりにより健康への意識が高まってきた。 ・職員が統一した対応が出来るよう連携を更に深めていく。
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	B	
子育て支援について	・気軽に保護者の相談にのり、具体的な支援やアドバイスを行っているか	B	・登降園時や、おたより帳でのやり取りにより、保護者と園とのコミュニケーションがとれていた。 ・医療機関、保護者との情報共有と連携が出来ていたので、引き続き行っていきたい。
	・医療機関・児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	
<p>〈総評〉</p> <p>勤務体制の厳しい中、職員同士の連携・創意工夫により今年度は計画通り進めていくことが出来た。新年度より新たな体制の下、会議や行事の準備などの時間を増やしていきたい。</p>			